

つつが虫病の患者発生に伴う注意喚起



平成31年4月22日（月）
担当：福島県保健福祉部
地域医療課
主幹 本田あゆみ 024-521-7221 内線2853

下記のとおり、今年度最初のつつが虫病患者の発生届出がありましたのでお知らせします。本県は、全国的にも、つつが虫病の多発地域で、毎年30人近い患者が発生しています。例年、山林、原野、農耕地等に入る機会が多くなる、春季（3～6月）と秋季（9～11月）に患者発生のピークがあり、近年は、中通り地域で患者の報告が多くなっています。つきましては、下記の予防方法等について、県民への普及啓発に御協力くださいますようお願いいたします。

記

1 患者の概要

地域	年代	性別	現状
県北保健所管内	70才代	男性	入院治療中、軽快

2 つつが虫病とは

病原微生物を保有するツツガムシ（ダニの一種）に刺された後、1～2週間後に発症する感染症です。（病原微生物を保有するツツガムシは全体の0.1～1%程度と考えられています。）ヒトからヒトへは感染しません。

ツツガムシは、肉眼ではほとんど見えないほど非常に小さいので、衣類の隙間から入り込むことがあります。また刺された時の痛みもほとんどないと言われています。

主な症状として、「発熱」、「発疹」、「刺し口（刺された部位がカサブタに変化）」、「頭痛」、「倦怠感」、「肝機能障害」などがあります。

治療には適切な抗菌薬の投与が必要ですので、症状が現れたら出来るだけ早く医療機関（内科、皮膚科など）を受診しましょう。

3 予防方法

- 山林、原野、農耕地等に入る時には、長袖・長ズボン・長靴等を着用するなど、肌の露出をできるだけ少なくしましょう。
- 効果が認められる虫よけスプレー（対象に「ツツガムシ」が記載されている製品）もあります。持続時間が限られるため、小まめにスプレーしましょう。
- 野外作業後は速やかに入浴、着替えをし、皮膚に付着したツツガムシを洗い落としましょう。

4 過去の発生状況（「福島県感染症発生動向調査事業報告書」より）

（月別報告数）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
H30	0	0	0	2	6	2	1	0	0	3	5	2	21
H29	0	0	1	1	5	2	0	0	0	3	15	3	30
H28	3	1	0	2	4	2	0	0	0	2	9	5	28

（保健所別報告数）

	福島市	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	合計
H30	0	3	0	7	8	1	0	1	1	21
H29		2	6	8	12	2	0	0	0	30
H28		1	4	11	12	0	0	0	0	28